

原著 (Article)

小学校における学級活動“話し合い活動”の合意形成プロセスに関する実証的研究(2)

——逐語記録とシーケンス構造図を用いた研究手法の開発——

Empirical study on the process of consensus building in class discussion in elementary school in Japan Part 2: Applying Transcript based Lesson Analysis and sequence structure diagram

山田 真紀*
YAMADA, Maki*
清水 克博**
SHIMIZU, Katsuhiro**

キーワード：特別活動，話し合い活動，合意形成，逐語記録に基づく授業分析，シーケンス構造図

Key words：Extra-class activities, Class discussion, Consensus building, Transcript based Lesson Analysis, Sequence structure diagram

1. 本論文の目的と分析対象の概要

(1) 本論文の目的

本論文は、日本特別活動学会紀要の第27号に掲載された「小学校における学級活動“話し合い活動”の合意形成プロセスに関する実証的研究—逐語記録を用いた授業分析の手法を援用して—」（以下、特活論文と略記）を補完する役割をもつ。特活論文において、紙幅の制約により十分に論じることのできなかつた次の3点、すなわち、①従来、話し合い活動に適用されてきた授業分析の手法の意義と課題、②本研究が開発する授業分析の手法の意義とその分析プロセスの詳細、③分析上、必要となる逐語記録・分節分析・シーケンス構造図の全体、について可能な限り詳細に報告することを目的とする。

なお、特活論文の目的は、小学校で実践された話し合い活動を題材として、できるだけ客観的で実証的な方法を用いて授業分析を行い、“合意形成”がどのようなプロセスで成立しうるのかを具体的に示すことであった。題材としてとりあげたのは、八王子市立式分方小学校2年2組¹⁾で行われた話し合い活動である²⁾。

(2) 分析対象の概要

最初に、特活論文で分析対象となった話し合い活動の概要について記しておきたい。

2017年11月22日の2時間目に行われた第8回学級会では「ミニにぶかたまつりを成功させよう」という話し合いが持たれた。児童はUの字に並べられた椅子に座り、司会班の児童が黒板の前に並んでいる。司会班は「司会」「指し屋さん（指名係）」「書き屋さん（磁石付きシートにホワイトボードペンで意見を書く係）」「黒板記録（磁石

* 椋山女学園大学教育学部

** 名城大学附属高等学校

つきシートを黒板に貼る係の2名)」の5名からなる。最初に提案者の児童が「昨年は上級生が1年生だった私たちを楽しませてくれたように、今年は自分たちが1年生を楽しませてあげたい」という趣旨の提案理由を発表した。話し合いには柱（話し合うこと）が2本準備されており、柱1は「お店を決めよう」、柱2は「1年生に楽しんでもらうための工夫」である。柱1の話し合いでは「出し合う」のプロセスで、店の候補として10の案が出されたが、「店の数は4から6個、ひとつの店を担当するのは5から8人」という条件を満たすために、店の数を減らし、担当者が規定の人数になるように調整する必要が生じた。そこで「比べ合う」のプロセスで、児童は「ふたつの案を少しずつ順番にやることで1つの案とする」「内容が似ている案をひとつに合体させる」「人数の不均衡を移動により解決する」などの方法を編み出しながら、結局、5つの店を出店することに決めた。柱2では、「出し合う」のプロセスで多くのアイデアが出され、「比べ合う」のプロセスで「全体でできる工夫」と「店ごとに行う工夫」に分類した。そして最後に本時の話し合いの振り返りをし、話し合いの「良い点」「改善点」を出し合ったのち、担任の教師の講評を聞き、45分を告げるチャイムとともに学級会を閉会した。

2. 話し合い活動の授業分析の先行研究の意義と課題

(1) 授業研究 lesson study と逐語記録に基づく授業分析 Transcript based Lesson Analysis

教師が公開した研究授業を同僚教師や専門家が参観し、授業後に授業改善のための議論を交わす授業研究は古い伝統を持つ。的場によると明治時代から行われてきたものであり³⁾、教師の職場研修（OJT：On the Job Training）の日本特有の方法である。この協働的な授業改善の取り組みは、日本の学校教育の高い質を支えるひとつの鍵であるとして、ミルズ大学のキャサリン・ルイス氏が世界に向けて紹介したことが契機となり⁴⁾、1990年代後半から授業研究は Lesson study として諸外国に普及するようになる。2007年には、世界授業研究学会（WALS）が設立され、諸外国で実践された授業研究について、また授業研究の方法論について、盛んな議論が交わされている。

一方で、授業研究は、主観的で印象的な議論に終始し、あるいは「授業はこうあるべき」という理念からの演繹で授業を評価することも少なくない現実があり、その反省から、授業の現実に根差した客観的なデータをもとに議論すべきだとする授業分析の手法が編み出されてきた。1950年代前半より、重松鷹泰は、教師と子どもの言動を可能な限り網羅的に詳細に記録した逐語記録をもとに、客観的で実証的な授業分析の方法を確立しようと尽力してきた⁵⁾。重松鷹泰と上田薫らの名古屋大学教育学部教育方法研究室はこれまで逐語記録をもとにした授業分析の研究の蓄積を行っている。授業分析の方法と精度は、授業分析の目的や依拠する理論により多様である。田代は便宜的に授業分析を記述—解釈的、機能—分析的、様相—解釈的の3つに分類している。記述—解釈的な授業分析とは、逐語記録をもとに授業の優れた点や改善点につい

て考察・解釈し、授業改善のための具体的な手立てを得るようなタイプの研究である。機能分析的な授業分析とは、逐語記録をもとに教師や子どもの言説をカテゴリ化して統計的な処理を行い、授業の特徴を明らかにすることで、授業分析に実証性と科学性をもたせようとするタイプの研究である。そして様相—解釈的な授業分析とは、逐語記録をもとに授業の全体構造を描きだし、視覚的にも一覧性の高い状態にしたあと、授業の特徴や課題について解釈していくというタイプの研究である⁶⁾。

授業分析は、教師と子ども達による総勢40名にも及ぶアクターたちが繰り広げる、45分から50分間のシナリオのない舞台を対象に、内容とその流れや、個別の言動と全体構造との関係性、個の変容と全体の変容が再現可能・可視化可能であるように、一覧可能なコンパクトな状態で紙上に描きだされること、そして、それを科学的で妥当性のある方法で分析し、授業改善や授業研究に資する価値ある知見を見出すことを目指した、壮大な試行錯誤の試みであったといえる。

(2) 話し合い活動の授業分析

本研究が対象とする話し合い活動についても、授業分析の手法を適用した先行研究の蓄積がある。仮屋園らの共同研究では、継続的に話し合い活動の授業分析を試みている。仮屋園らの研究目的は、話し合いの発話連鎖についてのモデルを構築し、洗練された話し合いの特徴を明らかにすることであり、逐語記録を「連鎖関係」「発話対象」「実用機能」に分け、さらに「連鎖関係」を7つのカテゴリーに分類し、「実用機能」を8つの大きなカテゴリーと31の小さなカテゴリーに分類し、それぞれの逐語記録をカテゴリーに変換し、統計的に出現頻度を分析している。またそれを一覧性のある構造図に変換し、特徴を分析している。その結果、話し合いのエピソードは「成員の同意が得られて終了する収束型」「収束はしないものの終了時点で次の展開につながるような発案やプランが出される発展型」「エピソードの終わり方が次へのつながりをもたず、その場限りとなる雲散霧消型」があり、雲散霧消型が多くみられる場合は展開の仕方としての洗練性が低く、「先行発話を受け止める機能」「結論や合意を次へつなげる機能」をもつ発話連鎖が、共通理解形成の土台となるため重要である等の知見を提示している⁷⁾。ただし、仮屋園らの話し合いは、学級活動の話し合い活動ではなく、研究者が提示した話し合いのための題材、例えば、「船が難破しました。近くには“人食い鬼の島”“ゴキブリの島”“砂漠の島”等があります。あなたはどの島に行きますか」などのように、児童の生活実態とはかけ離れた題材で話し合わせていること、また、分析を複雑にしないために6人の児童で話し合いをさせていることに注意を要する。研究に客観性と科学性を持たせるために、カテゴリ化・数値化・図式化するプロセスに膨大な時間と労力を要するうえに、抽象化するプロセスで実際に話し合われた内容自体は捨象されてしまうことから、授業分析の手法の精緻化に対しての功績は大きいものの、結果的に形式的で常識的な知見しか提出できないもどかしさを感じる。

田代は、中村が提案した発言表を用いた授業分析⁸⁾を用いて、学級活動の話し合い活

動の「様相一解釈的」な分析を試みている⁹⁾。小学6年生の学級活動の話し合い活動「5年生に手渡そう：あいさつ運動」を題材に、逐語記録を作り、それを内容のかたまりごとに分節に区切り、キーワードを記号化した一覧性のある発言表にまとめている。そして「主要な言葉」の展開状況を手掛かりに、議論がどのように推移したのかを解釈的に分析している。しかしながら、手間をかけて作成された発言表がどのように分析に利用され、知見の提出にどう貢献したのかのプロセスが示されていない。

それ以外に、学級活動の話し合い活動を対象にした授業分析には、黒木による逐語記録による分析¹⁰⁾や、若松による話し合い活動での言動分析¹¹⁾、大久保による逐語記録による分析¹²⁾がある。黒木の研究では、小学3年生の学級活動の話し合い活動「フットベース遊びのルールをくふうしよう」を題材として、逐語記録による授業分析を試みしており、各発言に対して「発言分析・評価」を施し、児童の論理・志向性（苦手な子も楽しめ、クラス全員にとって楽しい活動になるような工夫を考えたい）を読み取ろうと尽力しているものの、知見を提出するためのプロセスや分析枠組みが示されないため、授業分析としての質に疑問が残る。

若松の研究では、学級会での話し合い活動を題材として、逐語記録を作成し、逐語記録のなかに、互惠的言動（学級活動をよくしていこうとする言動）、創造的言動（新しいアイデア・創造的なアイデアを提案する児童の発言）、代弁的言動（友達が考えていることを自分の言葉で伝えようとする児童の発言）、補足的言動（友達の考えにつなげていく発言）が見られる部分に下線を引き、さらに「意見を出し合う場面」「意見を比べる場面」「意見を決める場面」で頻出する類型言動に差があること、つまり「意見を出し合う場面」では互惠的言動が、「意見を比べる場面」では創造的言動が有意に多かったとの知見を提出している。しかしながらこの知見が、研究の目的である「児童の言動分析を通して、育成すべき資質・能力の明確化を目指す」に対して妥当性のある解釈に高められていないのが残念である。

大久保は学級会で「集会活動で何の種目を行うか」を決める話し合いの逐語記録をもとに、子ども達がドッジボールかサッカーかの二者択一を迫られたときに、学級目標や集会活動の趣旨と照らし合わせながら、皆が納得できる結論を導くことのできたプロセスを描いている。知見は貴重なものであるが、授業分析としては初歩的なレベルにとどまる。

その他、学級活動における話し合いではないものの、児童会の代表委員会での話し合い活動を分析の俎上にのせた秋山の研究¹³⁾がある。秋山は、代表委員会での話し合いの逐語記録をもとに、それぞれの発言内容を「ばらつき発言」「つなぐ発言」「支える発言」「深める発言」「創り出す発言」「まとめの発言」に分類し、話し合いが進行するにつれて「深める発言」「創り出す発言」が増え、話し合いが収斂していく様子を描いている。秋山の研究も授業分析としては初歩的なレベルにとどまる。

以上のように、話し合い活動を題材とした授業分析の主要な先行研究を収集し、レビューを行うなかで、話し合い活動の授業分析の難しさを痛感することになった。授業

分析の専門家による研究は、問いの立て方が、研究の客観性や科学性を高めるための分析手法の精緻化を主目的とし、実践的な問題解決に資するような問いは副次的目的であり、授業内容を捨象していく記号化・構造化の作業は、膨大で複雑であり、素人を寄せ付けないマニアックなものに感じられてしまう。一方で、授業分析を専門としない研究者の話合いの授業分析は、分析枠組みと分析プロセスが洗練されておらず、研究としての客観性や妥当性に一抹の不安を感じてしまう。

我々は、これまでの授業分析の研究の蓄積から学びながらも、「学級活動の話合い活動において、合意形成はいかなるプロセスで可能なのか」という問いに答えるためには、既成の分析手法を当てはめるのではなく、我々自身で問いにふさわしい分析のレベルを設定し、妥当性のある分析手法を開発することが必要だと実感するようになった。そこで試行錯誤のうえ開発したのが以下のシーケンス構造分析である。

3. シーケンス構造分析の方法

分析手法を開発するうえで注意したのは、以下の4点である。第一に、話合いの形式よりも内容を大切にすること、第二に、話合いを構成する要素をばらばらにするのではなく、要素と要素がどのようにつながりあって話合いが展開したかのシーケンスを大切にすること、第三に、授業分析の素人にも分かりやすい表や図を作成すること、第四に、授業分析のひとつの手法として、できるだけ客観性と科学性を持たせるとともに、作業と分析の関係、分析と知見の関係、知見と解釈の関係が飛躍することなく、妥当性のあるものにする。

そして、開発した分析手法をシーケンス構造分析と呼ぶことにした。シーケンス構造分析のプロセスは以下の通りである。

- ① 逐語記録を作成する（付表1の逐語記録を参照）。逐語記録には「発言番号」「時間」「発言者」「発言内容」を記していく。発言番号は、発言者が変わったとき、発言者が同じでも内容的に異なった発言に移ったところで区切る。
- ② 逐語記録を分節に区切る。同じ話題に属する発言のかたまりを分節と呼び、話題が変わるごとに分節を区切る。分節番号は逐語記録の冒頭に記す。
- ③ 分節分析のための表を作成する（付表2の分節分析表を参照）。分節分析表には、「分節番号」「分節を構成する発言番号」「他の分節との関連性」「分節の概要」「分節のなかで用いられる論理」「分節の終わり方」「分節を特徴づける発言」を記す。
- ④ シーケンス構造図を作成する（図1のシーケンス構造図を参照）。縦軸に「時間の経過」を、横軸に「話の展開」を取り、分節分析表における「他の分節との関係性」を手掛かりに話合いの流れの全体構造を示す。用いる記号については、前後の分節の関係性を「前の分節の文脈を踏まえた展開（記号：➡）」「前の分節の文脈から派生的に広がる展開（記号：⇒）」「脱線した分節（記号：

【I】で示し、分節の終わり方については「定型完結（記号：//）」「結論あり（記号：・・・☆）」「打ち切り（記号：・・・✕）」「結論をみないままのオープンエンド（記号：・・・▼）」で示す。

4. 分節分析とシーケンス構造分析の実際と利点

本研究では研究対象となる話し合い活動を題材とし、逐語記録・分節分析表・シーケンス構造図の3つを作成し、これらを分析していった。分析のプロセスとそこから抽出できた知見の一部を示すことで、シーケンス構造分析のメリットについて紹介していきたい。

(1) 逐語記録の分析

逐語記録の発言番号を用いることで、児童の発言数と教師の発言数の割合を比較することができる。児童の発言数の割合の多い授業は、児童が主体的に進める授業であり、教師の発言数の割合が多い授業は、教師主導の講話的授業であると解釈できる。本研究では、45分間の授業を序盤、中盤、終盤の3つの時間帯に分け、それぞれ教師と児童の発言数の割合の推移を計算した、その結果、終盤に向けて教師の発言数の割合が高まることを明らかにし、教師は授業枠という時間的制約のもとで話し合いをコントロールしなければいけない状況に置かれていると解釈した。

(2) 分節分析

分節分析表では、分節を構成する内容の概要が分かる「分節番号」「分節を構成する発言番号」「分節を特徴づける発言」が示されるものの、分析上、重要となるのは「他の分節との関連性」「分節のなかで用いられる論理」「分節の終わり方」である。「他の分節との関連性」は分節と分節との関連性を明らかにするもので、シーケンス構造を図式化するときの手がかりとなる。「分節のなかで用いられる論理」は、縦に見ていくと、児童がどのような論理を用いて話し合いを進めているかを知ることができ、児童が用いる論理を類型化することができる。本研究の事例では、「話し合いの定型」「1年生を楽しませたい」「多数決では決めない」「少数意見を大切に」「みんなのやりたい気持ちを大切に」「やりたいものを組み合わせることで少数意見を救い上げ、やりたい人の気持ちに寄り添う」「ある意見を全員が理解できるように助け合う」「相手の意見を否定するのではなく、建設的な対案を示す」という論理が用いられていた。2017年3月に新しい学習指導要領が公示され、学級活動の話し合い活動に関連して、これまで「集団決定」と表現されてきたものが、「合意形成」に変更になり、話し合いに参加するすべての構成員の納得を引き出すことが強調されるようになった。合意形成に至るまでには、多様で、時には相反する意見の折り合い地点を見出さなければいけない。本研究の題材とした授業では、児童は「ミニ井型」や「カツ

カレー型」の折衷案¹⁴⁾を示し、あるいは少数派の子どもに配慮する発言をたびたびおこなうことで、合意形成にみあった論理を繰り出していった。他のクラスの話合いにおいても本分析を施せば、児童の用いる論理が合意形成に向けた望ましいものであるかを考察できるだろう。

「分節の終わり方」には、「話合いの定型により完結」「結論が見出されて終了」「結論が見出されないまま打ち切り」「結論が見出されないままオープンエンド」の4類型が見られた。「結論が見出されないまま打ち切り」「結論が見出されないままオープンエンド」の違いは、前者が教師や司会により打ち切られ、その話題は強制的に終了するのに対し、後者は新たな問題点への着目や、新たな視点の提示により、派生的な分節が生まれることにより放置されてしまうような終了のあり方を示す。この話合いでは、「派生的に生まれた分節」が12あり、「脱線した分節」も3あり、また「結論を見出されないままのオープンエンド」で終わる分節が8あり、必ずしもひとつひとつの話題に結論を見出しながら直線的に話合いが進んでいったわけではないことが示された。そこで、「派生」や「脱線」がどのような事情により生じるのか、「オープンエンド」の積み重なる構造が話合いの展開においてどのような機能を果たしているのかを考察することになった。

(3) シークエンス構造分析

分節分析のうち「他の分節との関連性」「分節の終わり方」に着目して、全体の構造を示したものが図1のシークエンス構造図である。この図を見ると次の3つの分析と解釈が可能である。

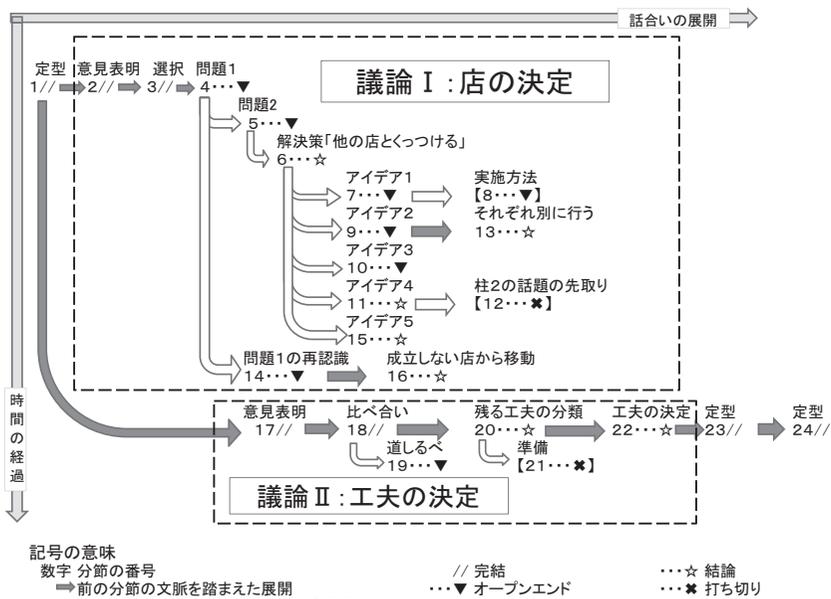


図1. シークエンス構造図

第一に、「派生」や「脱線」が多いことである。子ども達が未熟で支離滅裂であるからこうなるのではなく、子ども達がひとつの提案について「この提案のよい点は何か」「この提案の問題点は何か」「問題はどのように解決できるか」「解決するために必要な準備は何か」を豊かに発想し、発言するため、ひとつの話題について幾層もの派生的な分節が生まれるのだと解釈することができる。

第二に、「オープンエンド」の積み重なる構造となっていることである。仮屋園らの研究では「雲散霧消型」に類似するオープンエンドではあるが、我々はこのオープンエンドの積み重なりこそが、合意形成のための「耕し効果」として納得形成に機能的に働いているとの解釈をした。つまり、「少数意見を生かそう」「やりたい人の気持ちを大切にしよう」という論理を土台としたこれらのブレイクストーミングは、最終的には捨象されることになる意見も、一度は皆に受け止められ、生かす方法について知恵を絞ってもらったという素地を作ることになり、最終的に自分の意見が通らなかつた子どもにとっても「議論を尽くしてもらった結果だから」と納得をもたらすことになるからである。

第三に、「定型完結」や「打ち切り」が随所にみられることである。「派生」「脱線」「オープンエンド」の多層的な分節構造が積み重なっても、話し合いが空中分解に至らないのは、「話し合いの定型による完結」や教師や司会による「打ち切り」が要所で繰り出されているからである。つまり、話し合いの定型的構造を子ども達のなかに定着させること、教師が話し合いの脱線をさりげなく軌道修正する助言が、子ども達の自由に広がっていく思考を45分間の話し合いという形に収めていると解釈することができる。

おわりに

本論文では、シーケンス構造分析の概要を解説した。シーケンス構造分析のために必要な逐語記録・分節分析表・シーケンス構造図の全体を示し、それぞれを分析し、知見の一部を紹介することで、分析の妥当性と有効性を示すことができた。分析から抽出された知見を「“合意形成”がどのようなプロセスで成立するのかを具体的に示す」という目的に照らし合わせて解釈した結果は、特活論文に掲載しているので、そちらもあわせて参照していただけたら幸いである。

謝 辞

本研究にご協力いただきました八王子市立式分方小学校の前校長、清水弘美先生（現、八王子市立浅川小学校校長）、教職員の皆さま、実践を見せてくださいました2年2組の学級担任の先生と児童の皆さまに心より御礼申し上げます。また本研究は日本特別活動学会の重点課題プロジェクトA「未来研」の研究の一環として行われたものであり、分析方法や知見の提出において、研究会メンバーからたくさんの助言を賜

りました。ここに記して感謝の意を表します。

付記 1

執筆者2名の役割分担について。第二執筆者の清水が先行研究の収集と逐語記録の作成を担当し、第一執筆者の山田がそれ以外のすべてを担当した。

付記 2

本研究は科学研究費補助金の助成を受けて行われた。課題番号18K02373 基盤研究(C) 未来志向型コンピテンシーを育てる特別活動：話し合い活動を中心に（平成30年度～平成32年度）。

■注

- 1) この日の出席児童は30人で、教職歴3年目の教諭が担任として指導に当たっていた。
- 2) 学校名を公表することについては、校長の清水弘美氏に承諾を得ており、校長を通して児童とその保護者からも承諾を得ている。なお、本研究で分析する話し合い活動は、「DVDで見る小学校の特別活動—東京都八王子市立武分方小学校のとりくみ」（新宿スタジオ、2018年6月）の「授業に見る学級活動の進め方」の第1巻において公開されていることから、分析の再検証が可能であり、分析対象として優れていると判断した。
- 3) 的場正美（2010）日本における授業研究の成立と展開、加藤詔士、吉川卓治『西洋世界と日本の近代化』大学教育出版、120-137。
- 4) 秋田喜代美・キャサリン ルイス（2008）『授業の研究、教師の学習、レッスンスタディへの招待』明石書店。
- 5) 重松鷹泰（1961）『授業分析の方法』明治図書。重松鷹泰・上田薫（1965）『RR方式子どもの思考体制の研究』黎明書房。
- 6) 田代裕一（2014）質的な授業分析の意義・課題・可能性—授業実践の様相—解釈的研究—、『西南学院大学人間科学論集』第9巻、第2号、27-51。
- 7) 假屋園昭彦・丸野俊一・綿巻徹・高橋豪（2005）児童の話し合い場面におけるコミュニケーション・モデル構築の試み、『鹿児島大学教育学部研究紀要 教育科学編』56巻、165-205。その他、假屋園らは以下のような研究も行っている。假屋園昭彦・丸野俊（2007）複式学級と単式学級に属する児童の話し合い過程の比較研究(I)、『鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要』第7巻、109-169。假屋園昭彦・丸野俊（2008）複式学級と単式学級に属する児童の話し合い過程の比較研究(II)、『鹿児島大学教育学部研究紀要 人文・社会科学編』第59巻、199-258。
- 8) 中村亨（1987）発言表を使用する授業分析—授業における子どもの相互関係にふれて—、『教育方法学研究』12(0)、111-118。
- 9) 田代裕一（2017）学級活動の授業分析—アクティブ・ラーニングの観点から—、『西南学院大学人間科学論集』第12巻、第2号、27-48。
- 10) 黒木義成（1994）効力感を高める望ましい集団活動の育成：「話し合い活動」の逐語記録による分析、『琉球大学教育学部教育実践研究指導センター紀要』第2号、77-93。
- 11) 若松昭彦・川原陽子・熊田信一郎・鏡原崇史（2017）小学校通常の学級における学級活動の実践—「話し合い活動」での言動分析を通して—、『学校教育実践学研究』第23巻、131-138。
- 12) 大久保利詔（2015）クラスの絆を強める集会活動実現のための話し合い活動に基づく集会活動の

実践：学年クラスマッチの種目提案を視野に入れた4年生の学級での話し合い活動と集会活動の実際、『日本特別活動学会紀要』第23号，77-84。

- 13) 秋山麗子（2008）言語活動力を生かした児童会代表委員会の取り組み—“あいさつキャンペーン”の実践を通して—、『日本特別活動学会紀要』第16号，73-86。
- 14) 清水弘美氏によると「くっつけて生かす」方法には、「畝立型」「ミニ井型」「カツカレー型」があるという。清水弘美（2018）『新学習指導要領対応 小学校「特別活動」の年間指導モデル』学事出版，33。

付表 1. 逐語記録

分節	No	時間	発言者	発言内容	
1	1	0:00	司会 A	これから第 8 回学級会を始めます。司会グループの紹介です。司会の* *リオです。私が今日頑張ることは台本を見ずに、みんなに聞こえやすく大きな声で言いたいです。	
	2		司会 B	指し屋さんのヤザワアミです。私が今日頑張ることは、早く人を指すことです。	
	3		書記	書き屋さんのヒラノヒロコです。今日頑張ることは、みんなにきれいな字で書きたいです。	
	4		黒板	黒板記録のタカミザワカエデです。今日頑張ることは、みんなが見やすくきれいにユウト君と協力して頑張って貼りたいです。	
	5		黒板	黒板記録のイザワユウトです。今日頑張ることは、みんなに見えるように貼って、カエデ君といっぱい協力して頑張りたいです。	
	6				よろしくお願いします。
	7		司会	提案理由の確認です。提案者のミライさん、メイさん、アリさん、提案理由の確認をしてください。	
	8				去年は今の 3 年生が楽しませてくれた。今度は自分達が 1 年生を楽しませたいからです。
2	9	5:26	司会	ありがとうございます。柱 1 はお店を決めようです。何か意見はありますか。ヒヨリちゃん。	
	10		女子	お化け屋敷がいいと思います。理由は、ドキッとするけど楽しかったって気持ちにさせてあげたいからです。	
	11		司会 B	ユウダイ君。	
	12		男子	射的がいいと思います。理由は、去年射的をやって、最初、自分が楽しい気持ちになったし、そのあと射的をやってくれていた、もう今は 3 年生なんだけど、3 年生の人達が今の 2 年生と射的をやったあと笑顔になれていたの、今度はその 3 年生の立場になってみたかったからです。	
	13		司会 B	ヒナタさん。	
	14		女子 10	ボーリングがいいと思います。理由は昨年ボーリングをして、工夫して、楽しませてくれてよかったと思うからです。	
	15		司会 B	ひろみち君	
	16		男子左	魚釣りもいいと思います。理由は 3 年生が魚釣りをやっていたからです。	
	17		教師	やっていたからどうなの？	
	18		男子左	やっていたからいいと思いました。	
	19		司会 B	右京君	
	20		男子 7	はい、お笑いダンスがいいと思います。理由は、1 年生にあんまり笑わせたことがないから何か笑わせることをした方が何か喜びそうで、だからです。	
	21		司会 B	春季君	
	22		男子 3	はい、図工がいいと思います。理由は桃とかいろいろと、1 年生になった時も 2 年生になった時も教わったから、1 年生にも図工をやって勉強してほしいからです。	
	23		男子？	確かにずっとやっていたもんな	
	24		司会 B	浅利君	
	25		男子 13	輪投げがいいと思います。理由はぼくが式分方小まつりで一番楽しかったのが輪投げだったからです。その僕が楽しかった気持ちを 1 年生にも伝えたいからです。	
	26		司会 B	福岡ちゃん	
27	女子 6	マジックショーがいいと思います。理由は去年 3 年生もやっていなくて、楽しむことができそうだからです。			
28	司会 B	樋口君			
29	男子左 1	うーんと、モグラたたきがいいと思います。理由は今の 3 年生がやって、えーと、えーと、まいいぶたちが 1 年生の時、やって楽しかったからです。			
30	司会 B	あいりちゃん			
31	女子中央	手づかみ UFO キャッチャーがいいと思います。理由は手づかみで、箱に折り紙を作っていっぱい入れて、それで持てる分だけもらえると、1 年生も喜んでもらえると思ったからです。			

	32	8:35	司会 A	「出し合う」でいっぱい意見が出たので、次は「比べ合う」に移ります。「比べ合う」では、どのお店がいいか決めます。
	33	8:47	教師	(黒板の下に一つだけ貼ってある)モグラたたきを(上の列の)横に並べた方がいいんじゃないの。その下にどんどん名前を貼っていくから。
	34	8:55	司会 B	知宏君、どれがいいですか？
	35	8:59	教師	それ(モグラたたきの札)、マジックショーの隣
	36		男子右 9	お化け屋敷がいいと思います。理由は、
	37		司会 B	どれがいい？お化け屋敷？
	38		男子右 9	うん(何度も首をふる)
	39	9:15	司会 B	たかひら君
	40		男子 11	お化け屋敷
	41	9:22	教師	自分がやりたいお店
	42	9:24	司会 A	どこでもいいんだよ
	43	9:25	教師	まだなら、まだ。
	44	9:27	男子 11	お化け屋敷がいい。
	45	9:32	司会 A	しおりちゃん
	46	9:34	女子 4	お化け屋敷
	47		司会 A	みみなちゃん
	48		女子	お化け屋敷
	49	9:42	司会 A	桧垣君。まだきまっていないの？
	50		黒板 B	まだ決まっています
	51	9:52	司会 A	直樹君
	52		中央男子	まだ決まっています
	53	9:57	司会 A	右京君
	54			まだ決まっています
	55	10:03	司会 A	べんちゃん
	56			まだ決まっています
	57	10:07	司会 A	ゆかちゃん
	58			図工
3	59			おー
	60	10:13	司会 A	秀明君
	61			まだ決まっています
	62		司会 A	あみちゃん
	63		女子	まだ決まっています
	64	10:19	司会 A	花道君
	65	10:21	男子	もぐらたたき
	66			おー、出ましたね
	67	10:24	司会 A	雄大君
	68			まだ決まっています
	69	10:26	司会 A	ふうが君
	70	10:29	男子	お化け屋敷
	71	10:33	司会 A	ともみくん
	72	10:34	男子	うーん、まだ決まってない
	73	10:38	司会 A	こうき君
	74	10:43	男子	もぐらたたき
	75	10:45	司会 A	かなで君
	76	10:55	男子	お化け屋敷
	77		司会 A	ひなちゃん
	78	10:59	女子	お化け屋敷
	79		司会 A	全部聞いちゃうの
	80	11:04	教師	いいよ、まだどんどん聞いてごらん
	81		司会 A	あんじゅ君
	82	11:07	男子	お化け屋敷
	83		女子	お化け屋敷なんで？私、怖くていやだ
	84	11:12	司会 A	ななちゃん
	85	11:13	女子	まだ決まっています
	86	11:15	司会 A	あいりちゃん
	87	11:17	女子	まだ決まっていない
	88	11:19	司会 A	春季君
	89		男子	まだ決まっています

	90	11:21	司会 A	ほうが君
	91		男子	ボーリング
	92		男子	おー, ボウリング。
	93	11:27	司会 A	ゆうき君
	94	11:28	男子	えーと, モグラたたき
	95			おー,
	96		司会 A	ひなたちゃん
	97		女子	ボーリング
	98			おー
	99		司会 A	はなちゃん
	100		女子	お化け屋敷
	101	11:47	司会 A	あやかちゃん
	102		女子	まだ決まっていません
	103		司会 A	さだいちゃん
	104	11:52	女子	手づかみ UFO キャッチャー
	105	11:57	司会 A	りゆせいくん
	106			図工
	107	12:04	司会 A	ふうかちゃん
	108		女子	マジックショー
	109	12:08	司会 A	2回目, ひびなちゃん 《2回目の指名》
	110	12:10	女子	手づかみ UFO キャッチャー
	111		司会 A	津田君
	112		黒板 A	お化け屋敷
	113		司会 A	なおき君
	114		男子	図工
	115	12:21	司会 A	右京君
	116		男子	お笑いダンス
	117		司会 A	みいちゃん
	118		女子	手づかみ UFO キャッチャー
	119		司会 A	秀明君
	120	12:31	男子	射的
	121			変わったなー
	122			射的かー
	123		司会 A	あみちゃん
	124		女子	手づかみ UFO キャッチャー
	125		教師	キャッチャー
	126	12:44	司会 A	雄大君
	127	12:49	男子	魚釣り
	128			おー
	129		司会 A	のぞみ君
	130	12:57	男子	ボーリング
	131			おーおー
	132	13:00	司会 A	ななちゃん
	133	13:03	女子	手づかみ UFO キャッチャー
	134		司会 A	あいりちゃん
	135	13:09	女子	うーん, マジック
	136		男子	おー
	137			出た, マジックショー
	138	13:15	司会 A	はるき君
	139		男子	マジックショー
	140			おー
	141		司会 A	あやかちゃん
	142	13:22	女子	図工
4	143		司会 A	お化け屋敷は?
	144		男子	お化け屋敷だけ多い
	145		男子	お化け屋敷だけ多い, だれかいないの
	146		男子	お化け屋敷だけが多い
	147	13:38	司会 A	お化け屋敷, 動く人はいますか
	148			輪投げがない
	149			お化け屋敷

5	150	13:42	男子	輪投げがかわいそうだ
	151	13:44		あーあー
	152		男子	一人でぼいぼいぼいって、
	153	13:48	女子	ちょっと問題だね
	154		黒板係 B	じゃあ、輪投げ（お化け屋敷から移ることを手を挙げて意思表示）
	155		男子	輪投げいきたい
	156		司会 A	りまちゃん
	157	13:59	女子	輪投げ（お化け屋敷から移ることを手を挙げて意思表示）
	158	14:03	教師	あのさ、お店のやる数確認したよね
	159	14:04	男子	4 から 6
	160		男子	4 から 6
	161		教師	別にわざわざ無理に動かなくていいんだよ
	162		男子	えっ、動きたいけど
	163		男子	10もあるし
	164	14:12	男子	10もあるじゃん
	165		女子	逆に多すぎるよ、お店が
	166		司会 A	うさみ君
	167	14:18	男子	輪投げがいい（ボーリングから移ることを手を挙げて意思表示）
	168		司会 A	輪投げ、輪投げ
169	14:22	教師	ボーリングにいた	
170		男子	4 個から 6 個だよ	
171		男子	4 個から 6 個か	
172		男子	4 個から 6 個	
173		男子	手づかみ UFO キャッチャーとお化け屋敷が多いからな	
174		男子	お化け屋敷と	
175	14:38	男子	あと図工が多い	
176		司会 A	手づかみ UFO キャッチャーと図工とお化け屋敷に決まっちゃうんですけどほかの人はどうしますか？	
177		男子	4 から、それ 3 じゃん	
178		司会 A	でもねー、それ以外は 3 とか 1 とか 2 としかいないからできないよ	
179		男子	5 から 8	
6	180	14:59	女子手前	だからまとまればいいんじゃない？、その少ないやつが
	181		男子	まとめれば
	182		女子手前	そうすれば、お店をやりたい人のができる
	183	15:05	女子 2	あ、わかった、お化け屋敷の後にお笑いダンスとかをくっつけたらどうかな
	184		多数	あーあ、そうそうそう
	185		男子 5	それがいい
	186		女子	怖くなった後に面白くなったらい
	187		男子 5	そうしたら 1 個いける
	188	15:18	多数	それいいね。それだったらい
	189		男子	楽しくなる
	190	15:24	男子 5	そうしたら 1 個になる
	191		司会 A	その意見でいいですか？
	192	15:26	全員	いいですよ
	193			あ、でも、そうしたら人数が多くなる
7	194	15:33	男子左 1	お化け屋敷さ、全部電気消さないといけないよ
	195		男子右 1	電気を
	196		司会 A	お化け屋敷から出てきた人が電気を付けてやればいいじゃん
	197			ここだけ消しておけば、ここだけ
	198		司会 A	確かに
	199	15:44		ここらへんだけ消しておく
	200		女子右 2	ここらだけ消しておけばいいじゃん
	201			じゃあ、入って来る時だけはお化け屋敷消して
	202	15:54		それで、なるだけこういう黒いやつかぶしておけば黒くなるじゃん。そうしておけば黒くなるでしょ。
	203			なんかさ工場みたいにすればいいんだよ
8	204			みんなで作るんだよ
	205			先生に材料借りてもいいんだよ
	206		男子 3	はい、はい

9	207	16:07	男子 3	あの、図工で、えーと割りばしの準備、割りばしの輪ゴム銃を作ってから、射的をしたらいいと思います。
	208	16:23	学級全体	あー、あー、それはいい
	209		女子右 2	あ、わかった、はい(手を挙げる)
	210			エー、射的?射的って作るの?割りばしでどうやって作るの?
	211			違う違う作れないって
	212		女子右 2	(女子右 2 が立って発言するが、周囲の声で発言が消される)
	213	16:37	司会 A	これとこれはくっつけてもいいですか?
	214		学級全体	いいですよ
	215	16:40	司会 A	反対の人はいますか?
	216			いいよ。自分の意見言っていよ。
217		女子右 2	なんで反対する人いるの?反対なら言ってみー	
218			えー、何と何がくっつくの?えー、図工と射的?	
219	17:00	司会 A	だから、はり君が言っているのは、図工で射的のやつを作って、射的でその作ったやつをやるということだよ	
10	220	17:26	女子 2	じゃあ、図工と魚釣りもできるんじゃないですか?
	221			確かに
	222			あ、わかった、魚釣りの釣り糸を割りばしで作って、それでいろいろなところでやって
	223		司会 A	でも、魚釣りの釣り竿はもう作ってあるじゃん
	224			あーあ、そうか
	225		司会 A	だから、図工とくっつけなくてもいいと思う
	226			あれ使うの?
	227			あれ使うの?
	228		教師	時間がさ、ずーとあるわけじゃなくて2、3時間目で終わるんでしょ、それに2年2組だけがお店をやるわけではなくて、いろいろなお店に行くのにあなたたち魚作るのに何分かかった?
	229			
	230	17:43	教師	結構時間がかかったよね?その時間、1年生もさせるの?
	231	17:52	男子	じゃあ、自分たちで作る。時間があいているから。
	232		書記	でもさ、
	233			自分たちで作る
234		書記	でも30分あるからさあ、それくらいできないかな?	
235			自分たちで作るといってあげる	
236	18:01	男子 1	自分たちで作るといって上げて	
237		教師	だったら、わざわざ作らなくてもいいんじゃないかなと思う。そこで時間を使うのはどうなの?	
238			(沈黙)	
239			だったら、他のお店に行きたくなっちゃう	
240	18:13		輪ゴムだけ変えちゃえばいいんじゃない	
241			変えなくていいんじゃないか	
11	242	18:22	司会	じゅあ、他はどうしますか?
	243			うーん
	244		司会	ゆうだい君
	245	18:24	男子 1	うーんと、(ゆっくり立ち上がりながら考え込む様子)(6秒沈黙)なくなっちゃた時の(沈黙2秒)、後に(13秒沈黙)
	246			モグラたたきやるの?
	247	18:49	司会	なくなっちゃた後に?
	248	18:59	男子 1	(聞こえないような小声で発言し、着席)
	249			江口君
	250	19:00	男子左 1	えっと、モグラたたきのあとに、(4秒沈黙)、輪投げ、輪投げを、あの、モグラたたきって手をやるの?(教師に向かって)
	251	19:23	書記	それは自分たちで工夫すればいい。
	252		教師	自分たちでやればいい
253		男子左 1	それで、モグラたたきをやってから、あの、輪投げをやったら、えーと、手を出してて、輪投げの、えーと、輪投げの(教師に向かって発言)	
254	19:42	教師	みんなに言って	
255		男子左 1	輪投げのとりやつを	
256			言うことわかった	

	257			OK, OK, OK,
	258		男子左 1	やったら、手でもできるから一緒にやっていい
	259			あーあ、そうか
	260	20:00	司会	今の説明、分かりましたか？わかんない人はいますか？
	261			すごい、わかんない
	262			ちんぷんかんぷん
	263			おれ、わかんない。
	264	20:13	司会	えーと、モグラたたきでたたくじゃん、そのあとに、出てくときに輪投げをなげたらいいんじゃない？って
	265		学級全体	あーあ
	266			モグラに？
	267			だからもぐらを出しておいて
	268			そういうことね
	269	20:21	司会	ねえ、モグラを全部出しておいて、それで何点とかやればいいんじゃない？
	270			あーあ、そういうことか
	271		女子真ん中	普通のたたくのやって、輪投げこういうふにやって、輪投げと、
	272			モグラたたきと輪投げを
	273	20:32	司会	くっつけてもいいですか？
	274		みんな	いいですよ
	275	20:36	司会	反対の人はいますか？
	276			うーん、どういうこと？
	277	20:39	教師	モグラたたきと、モグラ？うん？モグラたたきと輪投げを一緒にするの？
	278		教師	たたいた後にわなげのものをこっちに変えて、輪っかになげて、ってやるの？
	279	20:51	司会 A	そうしたらさ、時間がかかるし、
	280		教師	他にもっとない？この2つを組み合わせるのに何かいい案はない？
	281	21:00	教師	あてるならもっとでかい声であてて
(12)	282		司会 B	相馬君
	283	21:05	男子左 5	待っている間に何かをするのは。
	284		教師	今、輪投げとモグラたたきの話だよ
	285			でもさ、でもさ、無理してくっつけなくてもいいんじゃないの
	286			確かに
	287		司会 A	無理にくっつけると、無理にくっつけたらごちゃ混ぜになっちゃう可能性もあるよ
	288	21:27	男子右 5	わかった。
	289		教師	はい、あんじゅ、手上がっているよ
	290		司会 B	あみちゃん
	291	21:35	女子真ん中	はい、射的で鉄砲を使わなくてもいい気がします。
	292			手で？
	293			手でやれば
13	294	21:38	女子真ん中	手でやるより、こういうポー、景品を並べてボールで当てたら鉄砲を作らなくていいから、それでやって、図工は図工でちゃんとやった方がいいと思います。
	295			あっそうか
	296	21:59		そりゃ、確かに
	297	22:05	司会 A	ボールと決まっても、射的は一人しかいないからできるかがわからない
	298			できない
	299			輪投げも一人でできないよ
	300			わかった、わかった。
	301			お笑いも一人でできない。
14	302		司会 A	一人と二人と三人のところができないから、今は3つしかできないことになっちゃう。
	303			お化け屋敷ってさ……
	304			どうしようかなー？
	305	22:29		じゃあ、ボーリングとかお笑いダンスとか、違うところにいけばいいんじゃないの？
	306	22:34	教師	動く人いないの？聞いてみればいい
	307		司会 A	他に動く人いますか？

308		男子 9	射的 (お化け屋敷から移動の意思表示) に動く
309			一人しかいないよ
310		司会 B	ほうま君
311	22:51	男子左 5	モグラたたき (ポーリングから移動の意思表示)
312			よっしゃー
313	22:53		ポーリング (希望する店をもぐらたたきに移すために男子左 5 の 7 の名札を探す司会 A に対して)
314		司会	無理して動かなくてもいいんだよ。無理に動いちゃうと、ここ (ポーリング) ができなくなるから。(男子左 5 に対して)
315	23:05	教師	一回確認しよう。いつもは、みんなの意見をどうにか救おう救おうと思って組み合わせたりするよね。でも、今回は戸数が決まっているわけだ。で、今、人数的に足りているのは、「手づかみ UFO キャッチャー」と「図工」と「お笑いお化け屋敷」でしょう。あと、最低でも二つ決めなきゃいけない
316	23:26	男子	あと 2 つか
317		教師	2 人のところは、2 人ではお店ができないよね、ってのもお話ししたよね。
318		男子	3 人でも
319		教師	3 人でも無理だから、最低 5 人、最高 8 人だという話もしました。今日は意見をどんどん救い上げるのではなくて、どんどん削っていかなくては決まらない。
320	23:44	男子 1	じゃあ、
321		男子	あーあー
322	23:49	司会 B	雄大君
323		男子 1	最低、5 人までいなぎやだめなんですか？だったらまとめればいい
324		司会 A	魚釣りだよ、今いないのは。
325		司会 A	31 人でこの店を全部やることは出来ないから、どれかができなくなるかもしれないんですけど、それでも動きますか？
326	24:28	司会	魚釣りができない
327			魚釣りいないよ、魚つり。
328			他の方は……魚釣りにはできないかな。
329		教師	魚釣りができないから、もうおろしちゃったらいいですか。
330		男子	お笑いダンスもできない
331	24:51	司会 A	他に動く人はいますか？
332		司会 B	ひなたさん
333		女子右 9	輪投げがいい (ポーリングから移ることを手を挙げて意思表示)
334		司会 A	そこ、4 人、4 人になって (輪投げ、もぐらたたき)、5 人になっていない。あと一人。
335		司会 A	あと、こことここ (わなげ、モグラたたき) は、あと一人
336			あーあ、厳しい
337			そうか、そこはぎりぎりになっちゃうか
338	25:11	司会	最低 5 人はいないとお店ができない (ポーリングの札を黒板係 B が下にさげる)
339	25:14	司会	他に動く人はいますか？
340			えっ？いっちゃうの？
341	25:23	男子左 5	え、なんで僕は「射的」のところなんですか？
342		司会	どこなの？
343		男子左 5	「モグラたたき」って言ったんですけど
344		学級全体	ははははは
345		教師	まあ、間違えることもあります。やさしく教えてあげてください
346		司会 A	はい、ありがとう
347		司会 B	あいりちゃん
348		女子中央	はい、えーと、「輪投げ」に移動します (マジックショーから移ることを手を挙げて意思表示)
349			そこが問題だよ
350		男子 1	おっ。これでモグラたたきと輪投げはできーる？る！
351	25:50	司会 A	だから、1, 2, 3。待って、1, 2, 3, 4, 5 (5 人以上の希望者がいる黒板のカードを指で押さえながら確認)
352			おっ。OK。
353			おお、できる！

	354			できる。
	355		女子右 2	あと、一つのクラスに 4 個できるんだから
	356			4 個からだよ。
	357	26:07	司会 A	別に 6 個やるとは決まっていないうん。じゃあ 5 個
	358		司会 A	4 個以上だから、4 個以上あればいいから、無理に 6 個やる必要はないよ。
	359			5 個でもいいんだよ
	360	26:12		5 個
	361		司会 A	4 個から 6 個だから、5 個でもいいんだよ
	362			よくない？
	363			もぐらたたきがある
	364			もぐらたたき
	365			でも、あと一つできないんじゃない？
	366	26:33	男子 1	そうしたらさ、マジックショーの子がさあ、そうしたらさ
	367		教師	雄大、それ大きな声で言ってあげて
	368		男子 1	でもさ、今さ、マジックショーとかにいる人がさあ、無理やり動くようになっちゃうよ。
	369		司会 A	だったらお化け屋敷の人数がちょっとだけ減ればいいんじゃないかな。
	370			あーあ、射的も二人
	371		司会 A	1 個できるかもしれないよ
	372		司会 A	ここは、ここここで（お化け屋敷と射的を示しながら）、7 人いるから
	373		司会 B	はい、雄大君
	374		男子 1	あの、今、「お笑いお化け屋敷」は 7 人いるじゃん、でも最低 5 人までもでもいいんだから、
	375			あと二人抜ける
	376			あと二人
	377		男子右端	あの、射的は、あの、射的とマジックショーは今 2 人だから、それで、無理に動かしてもな
	378			でもさ、射的とマジックショーどちらかができなくなるかもしれないんだよ。最高 6 個だからどっちかができなくなるかもしれないんだよ
	379		司会 A	でも無理に動くのはかわいそうだよ。だって、自分がやりたいものだからさ
	380			射的とマジックショー？
	381	27:53	女子 2	いや、だからさ、そうじゃなくて射的とマジックショーに誰かが二人移動すればさあ、できるでしょう。私はそう思うな
	382			お笑いとお化け屋敷の人が、一人ずつ動けばいいんじゃない？
	383		男子 1	でも、やりづらいんだよ。
	384		司会 A	でも、ここ、自分がやりたい意見のものだよ
	385	28:08	教師	一個、思うんだけど射的って一つの的をねらうんでしょう？
	386			うん。
	387		教師	一つの的で何かものをねらうんでしょ。輪投げも何かものを狙うんでしょ。
	388			あーあーあ
15	389		司会 A	くっつけちゃってもいいんじゃない。
	390		男子 5	やっていることって、同じじゃない。
	391		教師	確かに
	392			同じだ
	393			じゃあ、射的と輪投げはまとめてもいいですか？
	394	28:25	司会 A	いいですよ
	395	28:30	学級全体	反対の人はいますか？
	396		司会 A	じゃあ、いないみたいなので決定します。（射的のカードを輪投げのカードの横に並べ直す）
	397		司会 A	射的って鉄砲を使わないのか
	398			射的ってねー
	399			何個になった？
16	400		教師	1, 2, 3。いや違う 1, 2, 3, 4, 5。
	401	28:48	司会 A	5？
	402			マジックショーの 2 人は？マジックショーの 2 人は 2 人でお店は？
	403			
	404		教師	

	405		学級全体	できない。
	406	29:05	教師	できないんだから？
	407	29:07	司会A	マジックショーのお店は2人ではお店ができないので？
	408		教師	どうしますか？
	409		司会A	マジックショーは……
	410			射的も
	411			射的もできない
	412		男子1	無理やりとは言わないけど、できないから移してあげれば
	413			できないよねー
	414	29:21	男子右3	はい、(マジックショーから)移動します。(マジックショーからお笑いダンスへの移動の意思表示をする)
	415			無理やり、いいって
	416			どこ？
	417		男子右3	お笑いダンス
	418		学級全体	ははははは
	419	29:30	司会A	ちかちゃんはどうしますか？
	420	29:44	女子右6	射的・輪投げ(マジックショーからの移動の意思表示をする)
	421			8人？
	422			え、8人？？ま、いいや。8人はできるんだ。
	423			お笑いダンス、行こうかな
	424			多いな
	425			待って、一緒に考えようよ
	426			だって、人数8人だからさあ
	427	30:01	司会A	この5個のお店が全部できるので、この5個のお店に決定してもいいですか？
	428		学級全体	いいですよ
	429		黒板係A	5個のお店にするの？
	430		教師	反対の人は聞かない？
	431		司会A	反対の人はいますか？
	432			いない、いないでしょう
	433	30:18	司会A	いないみたいなので決定します。
	434		司会A	5個じゃなくていいよ。(黒板Aに近づき、黒板Aに向かって)
	435		司会A	2個のところは1個でいいよ
	436		教師	さすがに進めてください。りよがやるわけじゃないから、りよが進めていかないといけない。黒板記録にそれはやらせて
17	437	30:28	司会A	「出し合う」は1年生に楽しませる工夫です。何か意見を出してください。
	438			磯田君
	439	30:37	男子左4	はい、えーと、「お化け屋敷」本当はこわいんだけど、1年生だからちょっとあの、手加減とかあの、怖くないようなお化け屋敷にした方がいと思います。
	440		学級全体	あーあ
	441		女子12	理由は、もし怖くなったら1年生がもう来たくないって言ったりして、1年生に人気がないと思うからです
	442	31:06	司会B	れいちゃん
	443		女子中央(赤ボーダ)	はい、音楽を流したらいいと思います。理由は普通の教室だと普通だから音楽を流すと楽しくなると思うからです
	444		司会B	あやかちゃん
	445	31:27	女子中央(赤ボーダ)	待っている間になぞなぞをしたらいいと思います。理由は待っているだけでは来た意味がないし、ずっと待っているのはかわいそうだから、待っている間になぞなぞをしてあげたらいいと思います
	446		司会B	まつうらさん
447		女子2	はい、一番最初になにかドアの前に立ってスタンプカードを配って、スタンプカードを配り終わったらみんなにがんばってねと声掛けをしたらいいと思います。	
448			確かに	
449	32:04	女子右2	理由は、がんばってねと言われたらがんばれる気になるし、言った方もうれしいかもしれない	
450		司会B	みらいちゃん	

	451		女子中央	はい。お店のポスターを作ってドアに貼ったらいいと思います。理由は、目立って1年生がいっぱい来ると思ったからです
	452			うーん
	453		司会 B	えいなちゃん
	454	32:31	女子左 6	はい、1年生にメッセージを書いたらいいと思います。理由は、音楽とか流しても周りがさみしいと意味がないと思ったからです
	455			あーあーあ
	456		司会 B	はい、○○さん
	457	32:50	女子 8	ドアに飾りをつけたらいいと思います。理由は教室に入るのに飾りを見れば入りたくなるという気落ちになると思ったからです
	458		学級全体	あーあ
	459			確かに
	460		司会	はる君
	461	33:10	男子右 3	はい。あの一。お化け屋敷の時に、ホワイト？風雅君の言ったように1年生が泣いちゃったりするから、その時におり紙を上げたらいいと思います。理由はそうしたら、メッセージ付きの折り紙を渡したらいいと思います。そうしたら、わー、すごいなーって、思っ何回も来てくれるかもしれないからです。
	462		司会 B	そうま君
	463	34:01	男子左 5	お化け屋敷なんだけどお化け屋敷のところに折り紙とかを置くのがいいと思います。理由は景品があるとまた来たいとなるからです
	464	34:29	司会 B	ひであき君は？
	465		男子左 2	お化け屋敷なんだけど、お化け屋敷に入る入口に折り紙を置いておいたらいいと思います。
	466			安心だよ
	467			道するべになるよ
	468			シールでもいいよ
	469		女子右 2	あ、シールか。あ、なんか入口がわからなかったら、進む道がわからなくなる。
	470			あ、そうか。地図みたいなものか
	471			他の角のようなどころにも地図とかそういうものを置くといい
	472			地図、地図いい
	473		男子左 2	理由は道がわからなくなる子もわかるし、ついていたらうれしいからです。
	474			あーあ
	475			道するべか
	476		男子左端	えーと、お化け屋敷にあの、何枚かの、ああ、違う、えーと、お化け屋敷をやる人にえーと何枚かのお札みたいなものをあげて、お化けが怖かったらこれを見せたらお化けがどく。
	477	35:51	学級全体	ははははは (大声)
	478			3枚のおふだみたいなやつ
	479			確かに
18	480	35:48	司会 A	とりあえず意見が出たので次は「比べ合い」に移ります。
	481		司会 A	「比べ合い」では全員でできる工夫やそのお店の中でできる工夫を決めてください。
	482			お店の中でできること？
	483			お札を作る
	484			お店のことでしょ
	485			待っている間になどは大丈夫でしょう
	486		司会 B	ふくおか君
	487	36:27	男子左 6	などは全部で準備できると思います
	488		学級全体	えー？
	489			全員でだよ
	490			そこでは必要だよ
	491		司会 A	全員でできる工夫と、音楽とか全員でかけられるし、全員でできる工夫とそのお店の中でできる工夫だよ
	492			あっ、分ければいいんだ
	493			折り紙を上げる工夫と折り紙を作る工夫だ
	494			あーあーあ
	495		司会 A	全員でできる工夫と、そのお店の中でできる工夫

	496	36:50	教師	張り替えていかなくちゃ。全員でできる工夫とお店でできる工夫をあなたたちがはっていかなければ黒板記録をやっている意味がないよ。ただ、貼るだけの仕事じゃないから、分けて貼りな。
19	497	37:01	男子右 7	ちょっと質問です。
	498		司会 B	右京君
	499		男子右 7	はい、えーと、ひろあきくんが言っていたのはいいんだけど、もらえながらやれば次の人も道がわからないと思う
	500		女子右 2	あ、だから折り紙をいっぱい作って次の人用とかに渡して
	501			(意見複数同時)
	502			あるあるある
	503		司会 A	(司会の立場ではなく、一参加者として意見を出す) だったら次の人が
	504	37:31	男子左端	入る前に置いておけばいいんじゃないんですか？
	505			そうじゃなくて、ハイハイは違う、違う、違う。
	506			それじゃ、どんどんどんん行っちゃうよ
	507			お化けがその前にある
	508			あ、あ、あ、分かった
	509		男子左端	ほりうち君 最初、お化けに折り紙を作ったひとに全部あげて、それで人が来てないうちに全部並べる。
	510	37:52		あーあ、それいいね
	511			あーあ、そういうことね
	512			いいわ、いいわ、いいわ、わかんない？
	513		司会 B	はい、右京さん
	514			折らなくてもいいんじゃない
	515			意味わからん
	516	38:11	司会 A	えぼし君が言った意味はどういった意味かわかりますか？
	517			わかりません
	518			わかる
	519			司会 B
	520		男子右端	今、イブが言っているのは、まず、お化け屋敷なんだから当然おぼけはいるじゃん、そのおぼけに作った折り紙があるじゃん、その折り紙を全部渡すじゃん、それで、おぼけの人が来る前にイブが言って言うことは全部並べておけばいいんじゃないということだと思います。
	521			うーん？
	522			はー？？もっとわからなくなってきた。
523		司会 B	はい、三上君	
524	39:00	男子左端	折り紙ができなかったら、なんか、テープみたいので矢印を作る	
525			あーあ	
526		司会 A	そっちの方が、そっちの方がわかりやすいね	
527			確かに	
528		女子右 2	でも派手な色、だって暗いからさ、派手な色がいいよ、でやっちゃえばいいよ	
529			じゃあ、ガムテープとかいいじゃん	
530		学級全体	えーえ (学級全体が騒がしくなる)	
531	39:20	司会 A	みんな聞いて、みんな静かにして	
532			そうしたらずーと……	
533		司会 A	静かにして (すぐに全員が沈黙する)	
534		男子左端	理由は、おりがみだと自分が全部もらっていいと思って全部もっていっちゃうから	
535			あーあ確かに	
536			あーあ	
537			確かに	
538			じゃあおいてあったら1年生、わかんないから……	
539		司会 B	うとう君	
540		男子右 7	でもそうしたらずーと貼ったままになっちゃうと思う	
541		男子右 4	え、違う、はい	
542			意見がある	
543		司会 B	しまちゃん	
544	39:58	女子右 2	はい、えーと、そうしたら最初にやり方の方で真ん中にあるのは道しるべのやつだよ、取らないでね、という。	

	545			道しるべと言われてもわかんないと思うよ
	546			じゃあじゃあじゃあ。
	547	40:15	司会 A	テープで目印をはって、それでそれを武分方小まつりが終わったらそのテープをはがせばいいと思います。
	548			はい
	549		司会 A	テープとかだったらはがす必要がないじゃん、一年生は。
	550		女子中央	えーと、お部屋を作るというやつで全部一年生が取っちゃうかもしれないから入口の所に誰かが一人とか立っていて、それで来たら一人一枚あげればいいと思います。
	551			あーあ
	552	40:51	教師	賛成、反対でどんどん掲示したら。
	553			右京君は納得したの？何が、うーん？と思ったの
	554	40:58	男子右 7	何かテープ下に貼ってもさ、なんかやぶれちゃうかもしれない
	555			破れないよ！
	556			ちゃんとさ、ちゃんとさ……
	557	41:10	教師	あのさ、もし、かもの話をしても話進まないよね。もし、敗れちゃったらどうするの？もし怪我しちゃったらどうするの？なんて言っていたら楽しいことなんてできないよね。だったら剥がれない工夫をお店の人が考えればいいし、剥がれちゃったらお店の人が直せばいいし
	558			あーあ
	559	41:24	教師	こだわる必要はない！
	560			はい、りお、全員のできる工夫と、お店のできる工夫に分けたいんですけどって、この二人（黒板係）が悩んでいるので助けてくださいって降りて下さい。そこ見えないんで（椅子の上に乗った黒板係に向かって）
	561	41:38	教師	全員のできる工夫とお店でできる工夫が、この二人（黒板係）が悩んでいるので助けてください
	562		司会 A	どう分けたいと思いますかって
	563		教師	どう分けたいと思いますかって
	564		司会 A	どう分けたいと思いますか
	565		教師	ここまで分けたんですって（司会 A の発言に覆いかぶさるように続けて発言）
	566		司会 A	ここまでは別けたんですけど、この三つ（「折り紙をとかをおく」「道しるべをする」「お札を作る」）が分けられないのでどう分ければいいですか？
	567	41:56		はい、
	568			ゆかちゃん
	569		女子右 5	はい、折り紙を置くとかはみんなで作ると思うから、全員のできると思う
	570			折り紙は全員でやるのか？
	571		司会 A	武分方小まつりで、全員のできるにするの？
	572			折り紙、何個でももらっちゃたら嫌だとおもうけどなー。
20	573		教師	折り紙を作るグループでやればいいんじゃないの？だから全員で別にやらなくていいんじゃない。
	574			そうだよ
	575	42:27	教師	だって、作らないところもあるでしょ
	576			そうだよ
	577		教師	だったらお店でいいじゃん。下して（黒板係に、「折り紙をとかをおく」についての掲示位置を指示する）
	578		教師	はい、次
	579			はい
	580			下すから
	581	42:40	男子右端	あの、ぼくじゃない？「お札を作る」は全員で別にお札を作るわけではないから、お店の方にしてもいいと思います。
	582		学級全体	うんうん
	583			お化け屋敷が入る前にやるから……
	584		教師	あと一つ残っているだけ。
	585	43:07	学級全体	「道しるべ」「道しるべ」
	586			「道しるべ」かー
	587			「道しるべ」ー
	588			はい。

	589 590 591 592 593 594	43:27	男子右端 司会 B 女子左 3	お店でやるか、やらないかできめればいいじゃん 分かった。 お店でも だから、お化け屋敷のように はい、ななちゃん 道するべは全員でやることではないからお店でいいと思います。
21	595 596 597 598 599 600 601	43:50	男子左 4 女子左 3 男子左 5 男子左 5 教師	1年生とかが入る前にやったらいいと思う。 そうそう 準備中みたいにすればいいと思う 準備中 置くとかその時に貼るとかするといいと思う。 準備は1年生が来る前にするから もし、かもの話をしても仕方ないでしょう。もし1年生が来たら じゃなくて、できるように自分たちが工夫する。で、全員ができる工夫 を決めていくんでしょ。
22	602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626	44:01 44:07 44:18 44:23 44:59 45:24 45:28 45:36	司会 A 司会 A 司会 A 司会 B 女子中央 司会 A 学級全体 司会 A 男子中央 男子中央 司会 A 学級全体 男子中央 教師 男子中央	次は全員でできる工夫を決めていきます。 反対か、賛成を決めてください うーん はじめは全員からです はい、全部できると思います。音楽を鳴らして、スタンプカードを配っ てポスターを作って周りとかに飾り付けをしてそれで折り紙とかを作っ てあげても同じことをしないから全部できると思ったからです。 でもスタンプカードって誰がやるの？ スタンプカード？ スタンプカードを代表で誰かがやればいい 暇な人が交代すればいいんじゃ はいりちゃんからこういう意見が出たんですけど全部に決定してもいい ですか？ いいですよ 反対の人はいますか？ いなーい あの質問したいんですけど？ あのスタンプカードって スタンプカードってさ、暇な人が交代交代でやればいいじゃん ああー そうしたらお店できないじゃん あのお店で…… 反対の人はいないみたいなので決定してもいいですか？ いいですよ あっ 大丈夫？ う、う、ん
23	627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639	45:43 46:02 46:17 46:41	教師 司会 A 司会 A 教師 司会 A 司会 B 女子右 2 司会 B 女子中央 司会 B 女子左 8 教師 司会 B	「振り返り」 じゃあ「振り返り」です 振り返りは…… ちょっと時間ないよね。今は。口頭で。 書く時間がないのであんじゅちゃんが当てていくので手を挙げてくださ い さなちゃん はい、今日はみんな何かなんて言うの、普段言えない人も今日は活発に 動いていたからいいと思います。 みいちゃん みんな1年生を楽しませる工夫で、1年生のことを思っている気持ちが すごい合ってたよかったです。 あみちゃん はい、えーとちょっと進まないところもあったけどみんな一年生のため に考えていて意見を持っていたのでいいと思いました。 あと一人。 ひろかちゃん

	640		書き屋	はい、今日、かなれ君とゆうと君が困ったときにみんなが、みんな、ゆうと君とかなれ君を助けあっていたところがいいと思いました。
	641		学級全体	(拍手)
	642		司会 B	次は何をやるの？
24	643	47:07 47:09	教師	先生の話
	644		司会 A	先生のお話です。先生お願いします。
	645		教師	エー前回時間が(チャイム音)だいぶかかりまして、今回時間が意識できるかなーとと思っていましたが、「はしる」の位置で思いのほか時間がかかりました
	646		教師	いつもはどんどんどん、意見を救っていこうしなくちゃいけないんだけど、今回はやらなくていいものもある、ところからのスタートだったのでなかなかむつかしかったかなと思います。
	647		教師	で、移動してくれてスムーズに進めようとしてくれた人がいるということを考えながらどどん1年生を楽しませるお店をやってもらいたいなと思います。
	648		教師	で、黒板記録困っててりおちゃんがすごく助けてくれたんですが、黒板記録は意見を見て動かしていく、そして分けていったりするのも黒板記録の仕事ですのでこういふうふうに見ているとわかるよね？こうやって動かしたらいいんじゃない？って考えながらあなたたちフロアで意見をいいながら頑張るというのもやっていってもらいたいなと思います。
	649		教師	今日、司会グループの人はちょっと朝早くにきて打ち合わせもしました。一生けんめいやってくれましたよね。
	650		教師	で、いろはさんも見やすく書くって言って、本当に見やすく書きました、こういう字が書けるとみんな遠くから見ても見やすいんじゃないかなと思いますので、ぜひ頑張ってまねしてってください。
	651	48:15 28:25	教師	1年生のために楽しいものにしていってもらいたいな、と思います。
	652		司会 A	これで第8回学級会を終わります。
	653		司会 A	ありがとうございました。
654	学級全体		ありがとうございました。	

付表2. 分節分析

分節番号	分節を構成する発言番号(数)	他の分節との関連性	分節の概要	分節のなかで用いられる論理	分節の終わり方	分節を特徴づける発言 ※「教」は教師による発言
1	1~8 (8)	独立	司会グループの紹介と「今日頑張ること」発表。提案理由の紹介。	・定型 ・1年生を楽しませる	完結	8「昨年は今の3年生が楽しませてくれた。今度は自分達が1年生を楽しませたいからです」
2	9~31 (23)	1を踏まえた展開	柱1「お店を決めよう」でアイデアを「出し合う」場面。10個のアイデアが理由とともに出される。	・去年やった／去年やっていない ・楽しんでもらいたい ・喜ばせたい	完結	10「お化け屋敷がいいと思います。理由は、ドキッとするけど楽しかったって気持ちにさせてあげたいからです」
3	32~142 (111)	2を踏まえた展開	出されたアイデアを「比べ合う」場面。自分がどのお店をやりたいか意思表示する。	※多数決ではない	完結	33教「その下にどどん名前を張っていくから」 41教「自分がやりたいお店」 42「どこでもいいんだよ」
4	143~157 (15)	3を踏まえた展開	人数がアンバランスであることへの気づき⇒多いグループから少ないグループに移ることで人数調整。	・少数派への配慮 ・やりたい気持ちを大切に	オープンエンド(新たな問題点への着目)	150「輪投げがかわいそうだ」 153「ちょっと問題だね」 161教「別にわざわざ無理に動かなくていいんだよ」

5	158～179 (22)	4 から派生した問題点の指摘と解決	お店の数が多すぎる ことへの気づき⇒5 人以上集まっている お店を決定とする	・人数の条件を 満たすものを決 定とする	オープンエン ド（新た な問題点へ の着目）	163 「10もあるし」 165 「逆に多すぎるよ、お店 が」 176 「～に決まっちゃうんで すけれど、他の人はどうしま すか？」
6	180～193 (14)	5 から派生した問題点の指摘と解決	決定したお店の数が 条件よりも少ないこ とへの気づき⇒ふた つをくっつけばお 店が成立するととも に、やりたいことも できるというアイ ディアが出される。	・折り合い「ミ ニ井型」「カツ カレー型」	結論あり	180 「だからまともればいい よね、その少ないやつが」 182 「そうすれば、お店をや りたい人ができる」 186 「怖くなった後に面白 くならいい」 190 「そうしたら1個になる」
7	194～203 (10)	6 を受けて の具体的提 案その1	「お化け屋敷のあと にお笑いダンス」と いうアイデアにつ いて議論。賛成意見 に続いて、「お化け 屋敷は暗い必要があ るが、暗くはお笑 いダンスが見えない」との問題点も提 示される。それに対 し「お化け屋敷が終 わったら電気をつけ る」「一部分だけ暗 くする」のアイデ アが出る。	・折り合い「ミ ニ井型」 ・1年生への配 慮	アイデア は共有され る。実現の ための障害 については 複数指摘さ れたまま結 論を見ず (オープン エンド)	194 「お化け屋敷さ、全部電 気消さないといけないよ」 196 「お化け屋敷から出てき た人が電気をつければいい じゃん」 200 「ここいらへんだけ消し ておく」 202 「黒いヤツかぶしておけ ば暗くなるじゃん」
8	204～206 (3)	7 の提案に 対する派生 的心配	準備と材料に対する 懸念		オープンエン ド	204 「みんなで作るんだよ」 206 「先生に材料借りてもいい んだよ」
9	207～219 (13)	6 を受けて の具体的提 案その2	「射的と図工を組み 合わせる」アイデ アについて議論。割 りばしで銃を作ると ころが図工で、自分 で作った銃で射的を する。→賛成	・折り合い（ミ ニ井型） ・反対意見の尊 重 ※全員理解のた めの助け合い	アイデア は共有され るが決定に は至らず (オープン エンド)	207 「図工で、えーと割りば しの準備、割りばしの輪ゴム 銃を作ってから、射的をした らいいと思います」 215 「反対の人はいますか？ いいよ。自分の意見言ってい いよ」
10	220～241 (22)	6 を受けて の具体的提 案その3	「魚釣りと図工を組み 合わせる」アイ ディアについて議 論。図工で釣り竿を 作り、そのあと魚釣 りをする。→釣り竿 はすでにあるから魚 を作ることに。→教 師から時間がかかり すぎることの指摘→ 「30分あればできる」 「あらかじめ自分た ちで作っておく」と いう意見が出る。	※折り合い（ミ ニ井型） ・全員理解のた めの助け合い	アイデア は共有され る。実現の ための障害 については 複数指摘さ れたまま結 論を見ず (オープン エンド)	220 「じゃあ、図工と魚釣り もできるじゃないですか」 228教 「あなたたち魚創るの に何分かった？ 結構時間 がかかったよね。その時間、 1年生もさせるの？」 231 「じゃあ、自分たち作る。 時間があいているから」 234 「でも30分あるからさあ、 それくらいできないかな？」

11	242～288 (44) ※12を内包する	6を受けての具体的な提案その4	「モグラたたきと輪投げを組み合わせる」アイデアについて議論。全員でイメージが共有された後に教師からこのアイデアを否定する発言がなされる。	・全員理解のための助け合い	アイデアは共有される。教師から否定され、アイデアは没になる。結論あり。	264「モグラたたきでたたくじゃん、そのあとに、出てくるときに輪投げを投げたらいいんじゃない？って」 287「でもさ、無理にくっつけたらごちゃまぜになっちゃう可能性もある」
12	282～284 (3)	柱2へ脱線	待っている間に何かするというアイデアが出る		教師による打ち切り	284教「今、輪投げとモグラたたきの話だよ」
13	289～296 (8)	9の議論の続き	「輪ゴム銃を作らなくても、景品を的にしてボールを投げるのでもできる」「図工は図工でやった方がいい」との意見		受け止められるがオープンエンド	294「景品を並べてボールで当てたら鉄砲を作らなくていいから、それでやって。図工は図工でちゃんとやった方がいいと思います」
14	297～386 (90)	4から派生した新たな問題点の提示	規定人数に満たないお店が成立しないことへの気づき→移動という解決策が示される→5名のところから1名移動することで成立していたお店が成立しなくなる→教師による条件の整理(お店は5～8人で運営する)→人数が満たないお店を没にする意見→多いお店から少ないお店に移ればいいという気づき→無理に移動させるのはかわいそう(やりたいことができない)	※少数派への配慮(誰かが移動すれば成立) ※無理に移動しなくてもいい(やりたいものをあきらめなくてもよい) ＝両方ともやりたい気持ちの尊重 ※意見を救う論理と削っていく論理 ※折り合い(まとめる)	多様な解決策が考案されるものの決着つかずオープンエンド	314「無理して動かなくてもいいんだよ。無理に動いちゃうとここができなくなるから」 323「最低5人までいなきゃだめなんですか？だったらまとめればいい」 369「でもさ、今さ、マジックショーとかにいる人がさあ、無理やり動くようになっちゃうよ」 370「だったらお化け屋敷の人数がちょっとだけ減ればいいんじゃないかな」 379「無理に動かしてもなー」 381「でも無理に動くのはかわいそうだよ。だって、自分がやりたいものだからさ」
15	387～400 (14)	6を受けての具体的な提案その5	「射的」と「輪投げ」をまとめる。何かものを狙うという点で共通しているため。→賛成	※折り合い(統合)	結論あり	387教師「思うんだけど、射的ってひとつの的をねらうんでしょ。(中略)輪投げも何かものを狙うんでしょ。くっつけちゃってもいいんじゃない？」
16	401～436 (36)	13の続き	2名で成立しないお店に立候補していた児童が成立したお店に移動する	※先生の指示によりセカンドベストへ移動	結論あり	404教「マジックショーのふたりはふたりでお店は？」 「できないんだから？」 「どうしますか？」 412「無理やりとはいわないけれど、できないから移してあげれば？」
17	437～479 (43)	1を踏まえた展開その2	だしあう：「1年生を楽しませる工夫」について意見を出しあう。11のアイデアがでる。	※理由を示す ※同調	完結	439「えーと、お化け屋敷は本当は怖いんだけど、1年生だからちょっと、手加減というか、あの、怖くないようなお化け屋敷にした方がいいと思います。理風は、もし怖くなったら1年生がもう来たくないって言ったりして、1年生に人気がないと思うからです。」

18	480～496 (17)	16を踏まえた展開	くらべあう：出たアイデアを全体の工夫とお店の工夫に分ける。		オープンエンド（派生的疑問に移る）	481「比べ合いでは全員でできる工夫やそのお店の中でできる工夫を決めてください」
19	497～559 (63)	17に挿入されるサブシーケンス	折り紙が道しるべになるという意見から、お化け屋敷の進路をどのように示すかの議論になる。「折り紙を拾いながら歩く」「折り紙がなくなると次の人が困る」「次の人が来る前にお化けがおきなおす」「おりがみじゃなくても矢印を床に貼るのでもいい」「暗くてみえないといけないので派手な色で」「1年生に道しるべの意味が分かるか」	※指摘される問題点について解決策を考える。 ※否定ではなく、建設的な意見を出す。	教師の制止で終了。結論はみないまま。	554「何かテープの下に貼ってもさ、なんか破れちゃうかもしれない」 557教「あのさ、もし、かもの話をしているでも話進まないよね。もし、敗れちゃったらどうするの？もし怪我しちゃったらどうするの？なんて言っていたら楽しいことなんてできないよね。だったら剥がれない工夫をお店の人が考えればいいし、剥がれちゃったらお店の人が直せばいいし。こだわる必要はない！」
20	560～594 (35)	17の続き	全体の工夫とお店の工夫に分けられてない3つのアイデアについてきめる。	※混乱している黒板書記の手伝いを全員でする。	教師の助言もあり決着	554教「折り紙を作るグループでやればいいんじゃないの？だから全員で別にやらなくていいんじゃない」
21	595～601 (7)	19から派生	いつ準備すべきか		教師による制止で終了	595「1年生とかが入る前にやったらいいと思う 601「もし、かもの話をしているでも仕方ないでしょう。もし1年生が来たらじゃなくて、できるように自分たちが工夫する。」
22	602～626 (25)	17を踏まえた展開	全員でできる工夫を決める。全部やることになる。		賛成で終了	607「はい、全部できると思います。音楽を鳴らして、スタンプカードを配ってポスターを作って周りとかに飾り付けをしてそれで折り紙とかを作ってあげても同じことをしないから全部できると思ったからです。」
23	627～642 (16)	定型	ふりかえり：4名の児童が発言	※意見を出せた ※1年生への思い ※助け合い	完結	640「はい、今日、A君とB君が困ったときにみんなが、みんな、A君とB君を助けあっていたところがいいと思いました」
24	643～654 (12)	定型	教師の講評	※時間への配慮 ※意見を救う議論と削る議論 ※困っていたら助ける ※みやすい字	完結	645教「前回時間がだいぶかかりまして、今回時間が意識できるかなーと思っていましたが、「くらべる」の位置で思いのほか時間がかかりました。いつもはどンドンどンドン、意見を救っていこうとしなくちゃいけないんだけど、今回はやらなくていいものもある、ところからのスタートだったのでなかなかむづかしかったかなと思います」